

6月15日付AP通信社電は、ムワッフアク・ルバーイー国家治安顧問が、ザルカーウィの隠れ家から見つけられたとされる文書を公表したと伝えている。

ザルカーウィの書簡については2004年にも米軍により公表されていますが、あの書簡は、個人的には、あまりに文書がうまいので、本当に彼の書簡であったのか眉唾だと思います。今回の文書は誰の手によるものかは公表されていませんが、ザルカーウィの考え方としてはありえるとの印象です。イラン、アメリカ、シーア派、スンニー派をめぐる力関係に関する見方は、まさにその通りです。

それ以上に、イラク政府がこれ（もちろん全文とは限りません）を公表したことには、政治的背景を感じてしまいます。サドル勢力を含むシーア派勢力、スンニー派、ザルカーウィを支持してきた部族、イラク軍等に対する大きなメッセージでしょう。それ以上に、これが英語に翻訳してから公表されたことは意味深です。アメリカとイランおよび国際社会に対するメッセージを構成しているのではないのでしょうか。アメリカとイランの間の亀裂が深まった際に得をするのは誰か、最も声高に叫びたいのは、イラク政府かもしれません。政府の主要なポストを構成するシーア派の旧反体制派とイランの関係は極めて深く、股南部におけるイランの復興支援は際立っています。このような中で、永遠の隣人たるイランとの関係はイラクの政治家にとってきわめて重要といえるでしょう。イランの要人とイラクの要人が協議をするたびに、米国のイラクからイラン攻撃に出陣することはないと繰り返すのも、このような背景があるからです。イランと米国の関係が緊張すればするほど、板ばさみになるのはイラク政府と言えし、イラクの安定はイランの不利益とイランが認識する場合に、最も高い代償を払わざるを得ないのはイラク政府に他ならないと思います。この文章をイラク政府が作ったとは言わないまでも、今の時期に英語で出したことには、やはり意図があると思います。

ザルカーウィの潜伏先で見つかった文書の内容は次の通りです。

イラクにおける抵抗運動の状況と環境は、イラク国内での出来事と実績について見直しを要求される段階に至った。このような見直しは、目的達成のために最善の方法を示すために必要とされている。それは特に、国家治安機関が米軍を守るための分厚い護衛網を作り上げ、米軍が被っていた被害を大きく削減するのに成功した状況下で必要とされている。これ（治安機関による防衛網作成）は、シーア派(指導者並びに大衆)が占領を支え、抵抗運動を打ち砕くために努力し、密告する上で担ってきた役割に追加されている。

一般論としては、時とともに増加する人命の被害に耐えられないため、時間は占領軍にとって否定的な影響を及ぼす。しかしながら現在のイラクにおいては、以下の理由から、時は米軍を利し、抵抗運動を傷つけている。

- ① 米軍がイラク治安部隊を整備し、強化し、反抵抗運動軍事作戦を引き受ける時を

与えている。

- ② 広範な逮捕作戦の実施する時間を与えることにより、抵抗運動に影響を与える地域侵攻を行い、抵抗勢力側の多くの部隊に被害をもたらしている。
- ③ 反抵抗運動のメディア・キャンペーンを実施する時間を与えた結果、国内における抵抗運動の影響力を低下させ、抵抗運動が国民にとって利益となるのではなく、妨げになると提起している。
- ④ 抵抗運動の資金拠出を締め付け、武器の没収を行う時間を与えることにより、抵抗運動の倫理的選択を制限している。
- ⑤ 抵抗運動勢力組織に亀裂を走らせ、襲撃作戦を混乱させることによって、部隊への影響と支援を弱め、結果として抵抗運動の攻撃を低下させている。
- ⑥ 占領を拒否する国々や組織のかつての立場とは逆に、占領を支援し、あるいは少なくとも中立的立場を取る国を増やす時間を与えている。
- ⑦ 抵抗運動の過ちを悪用し、誤謬の広報を行う時間を与えている。

これらの諸点に基づき、現状に一つ一つ対処することが必要になった。

- ① 社会の中での抵抗運動のイメージを改善するために、占領を拒絶する支援者を増加し、社会と占領および占領共謀者の間の利益の相克を示す必要がある。効果的で想像的な抵抗のイメージを拡大するためにメディアを利用すべきである。
- ② 必要な際に治安機関組織を弱める目的でのスパイ活動を行い、近代的兵器の使用を習熟させるべく、一部抵抗運動関係者を治安機関にもぐりこませる必要がある。
- ③ 抵抗運動新分子リクルートのための再組織化。
- ④ 兵器製造および改造のためのセンターおよび工場設立。
- ⑤ 敵対と偏見を予防するための抵抗組織の統一化を実施し、敬虔を尊ばせ、指導者への服従を求める。
- ⑥ 米国と同調しない国々および組織と米国との間に亀裂を作り上げる。
- ⑦ 抵抗運動のイメージを損なうであろう過ちを避け、過ちは人民の敵であることを示す。

一般論として、現在の破綻した状況にもかかわらず、我々は現在の危機から脱するために最高の示唆は、米軍が他の国との戦争に突入し、あるいは別の我々の勢力と戦うことにあると考える。そのためにも、米国とイラン、もしくはシーアは全体との関係に火をつけることに挑戦すべきである。米軍支持者のほとんどはシスターニー師時のシーア派であることから、シスターニー支持者と米軍の間に火をつけるべきであろう。彼らの間に差異をもたらし、米軍支持の絆を弱め、米軍とシスターニー支持者双方に被害を与えることができるであろう。結果として、米軍を別の的との戦闘に巻き込むことが、もっとも適切であるとの回答に至った。代理者との戦闘は以下の利点を有している。

- ① もう一つの frontline に米軍を取り組ませることにより、抵抗運動に活動の自由を与え、与えられている圧力から解放させる。
- ② 米軍とシーア派の間の団結を台無しにし、双方の連携を弱体化もしくは終了させる。
- ③ 米軍とシーア派双方に相互の信頼を失墜させることにより、米国のスパイの多くにダメージを与える。
- ④ 米軍並びにシーア派双方が戦闘に関与することで、双方ともに敗者に化す。
- ⑤ このようにして、米軍がスンニー派に手助けを求めざるを得ないようにする。
- ⑥ シーア派の一部組織を利用し、彼らの支配地域の中での抵抗運動の移動の自由を確保する。
- ⑦ シーア派によって捏造された抵抗勢力の穢れたイメージを作り上げるメディアを弱体化させる。
- ⑧ 抵抗運動の活動地域を拡大する。
- ⑨ 人民の支援と協力を得る。

抵抗の戦士たちは、米軍とメフディ軍の間に抗争が起こるとき、彼らがもたらした偉大な成果から学ぶことになる。しかしながら、我々は、この仕組まれた問題もしくは戦争は、いかによって達成されなければならないことを知るべきである。

- ① シーア派と米軍間の戦闘
- ② シーア派と世俗勢力間（アラーウィやチャラビー）の戦闘
- ③ シーア派とクルド人間の戦闘
- ④ アフマド・チャラビー勢力とアイヤード・アラーウィ勢力間の戦闘
- ⑤ ハキーム勢力とサドル勢力間の戦闘
- ⑥ イラクのシーア派と湾岸アラブ諸国のスンニー派間の戦闘
- ⑦ 米国とイランの戦争

これらの中でも最善の戦闘は、スンニー派と抵抗勢力の以下のような多くの利益に資するために、米国とイランの戦争である。

- ① シーア派の統治下に置かれている 30%を占めるイラン国内のスンニー派を解放する。
- ② 多くの勢力と対峙せざるを得なくなるであろう別の戦闘に米軍を引きずり込む。
- ③ イランの敗北後もしくは戦闘中に、イラン側から新たな武器の供給を受ける可能性がある。
- ④ イランによる抵抗勢力支援を誘う。

イランとの戦闘にいかにか米国を巻き込むかにか疑問も残る。アフガニスタンおよびイラクに

おける戦争の際にイランが米国を大いに支援したことから考えれば、米国が本当にイランに敵意をいだいているかはわからない。それゆえ、まずはイランの脅威を誇示し、米国や西側社会に対し、新の脅威はイランから来ることを納得させなければならない。そのためには、いかのことを推進する必要がある。

- ① 米国の利益および米国民に対する脅迫のメッセージを広め、その責任をイラン側に負わせる。
- ② 誘拐作戦を実施し、その責任がイラン側にあることを示唆する。
- ③ イランが科学・核兵器を所持しており、これら兵器により西側社会に脅威を及ぼしていると宣伝する。
- ④ 西側諸国で爆破作戦を実行し、イランのシーア派の指紋や証拠を残す。
- ⑤ イランと米国が呼ぶところのテロ・グループとの間の関係の存在を宣言する。
- ⑥ イランが大量破壊兵器を所持したり、イラン諜報機関が米国や西側諸国において西側の利益に対するテロ行為を行おうとしていたとの証言に関する偽のメッセージを広める。

神の助けと成功を祈ろう。